

第10回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」議事録

■開催日時：平成29年6月1日（木）10：00～12：00

■開催場所：メルパルク京都 6階 会議場C【貴船】
（京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町）

■委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）
佐々木一英（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授） 欠席
鄭 小平（立命館大学経済学部 教授）
◎深川良一（立命館大学理工学部 教授）
◎印は委員長（50音順・敬称略）

■オブザーバー： 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・三重県・関西電力（株）・
伊賀市・大阪広域水道企業団・阪神水道企業団

■議事概要：

委員会は委員5名中4名の出席により、事務局から委員会規約の改正、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

■本委員会における丹生ダム建設事業の今後の取扱いについて

・丹生ダム建設事業の事業実施計画の廃止に伴い、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備を規約に位置づける改正案の説明を行った。

■規約の改正について

（規約改正）

・丹生ダム建設事業の事業実施計画の廃止に伴う丹生ダム建設事業の今後の取扱い、及び委員名簿の所属等の変更に伴う規約の変更について説明を行い、提案通り了承された。

（委員長改選）

・委員長について、委員の互選により、深川委員に決定した。

■大戸川ダム建設事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要

・事業の経緯に道路計画の見直しの時期を明示するほうが分かりやすいので、今後の資料作成の際の参考とすること。

2. 事業進捗状況

・家屋移転も完了しているため、少しでも早く今後のダム本体や事業全体の見通しを示せるように努めること。

3. コスト増加要素

・落石・転石に対応するため、事前の調査を適切に実施し、必要な予算を検討・把握することで、今後の各年度の予算のコントロールを機能的に行うように努めること。

4. コスト縮減実施内容

(意見・質問なし)

5. 落石・転石による工程への影響概要

(意見・質問なし)

6. その他の意見

・関係者との協議・調整を適切に実施し、事業を進めること。

■川上ダム建設事業について

(委員の主な意見)

1. 事業概要

(意見・質問なし)

2. 事業の進捗状況

(意見・質問なし)

3. コスト増加項目

(意見・質問なし)

4. コスト縮減項目

・ダム本体の基礎処理工について、岩盤条件が良好な場合、現場条件に合わせ施工計画を見直し、コスト縮減を図ること。

5. その他の意見

・これから工事が最盛期となるので、安全管理を徹底し、事故防止・工期遵守を図ること。

■天ヶ瀬ダム再開事業について

(委員の主な意見)

1. 事業概要

(意見・質問なし)

2. 事業の進捗状況

(意見・質問なし)

3. コスト縮減項目

・重金属等含有岩石処理対策については、コストの増減や全体事業費との関係が解るよう資料の表現や説明を工夫すること。

4. その他の意見

・工事においては、受注企業からの技術提案を積極的に採用し、コスト縮減に努めること。

■丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について

(委員の主な意見)

1. 事業概要

(意見・質問なし)

2. 事業の進捗状況

(意見・質問なし)

3. その他の意見

・丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備については、ダム本体工事と比べて規模が小さいため、今後の委員会での資料は、今回のような形で作成することとする。

・今後の整備においても、引き続き地元に寄り添った対応をしていただきたい。

(以上)